広報 横芝

この広報は各家庭に洩れなく配付します。
発行所・千葉県山武郡横芝町役場（電話）横芝32・249・339

1月は　国保第8期
2月は　国保第9期　それぞれ納期です
3月は　国保第10期
2月は有放1、2月分の納期
3月は有放3月分の納期　にも当ります
完納に　明るい今日の　町づくり

横芝の歴史をさぐる会員募集

横芝の歴史と民俗を研究し、私達の祖先の功績を後世に残す為の有志集いて会をつくるもの、曰く、海保忠氏（屋形）、大木　竹氏（中台）、押尾喜世治氏（上町）、土屋源吾氏（東町）、安井勝見氏（大総校長）の諸氏が発起人。参加希望者は広報係若しくは前記発起人宛申込まれたし。

年頭の辞

横芝町長　伊藤績夫

町民の皆様、明けましてお目出とうございます。

皆様の町政をお預りするようになりましてから此々に十年、其の日、其の日が緊張の明け暮れではありますが、事年頭となりますと、又、改まった緊張感に弾きしまるのを覚え、町民の皆様に、奉仕の誠を果すべき感慨が、又一しおなるものがございます。

さて、毎年同じことを申上げているようでございますが私達の町、構芝の現在には、厚生衛生面、産業面、建設面そして、観光及教育施設面にと、幾多の事業が山積しております。幸い、皆様の力強い御支援により、道路補修には欠くことの出来ないグレーダーの共同購入、鳥喰、三島地域に於ける農業構造改善事業等々着々その実績の実を結びつつありますことを、此々に御報告をかねて深く御礼申上げる次第でございます。

しかし、どれも採りあげて見ましても、町民の皆様の、誰もが御満足いただけているものと安心しているものではございません。むしろ、力の足らざることを痛感いたしておるものでございます。そして、又これからも幾多の困難と障害に当面することがあると思われますが、与えられた財源、と許される最大限の法律と規則を充分効果的に行使し、町民各位御支援の下、不肖老骨に鞭を打ち、全力を挙げて、あらゆる障害を打破し、横芝町全体の明日への基盤を築き、将来に向つて、平和な幸福な、住み良い町造りのために、創意をこらし、工夫研究を重ねて、その最善をつくしてまいりたいと考えております。

どうぞ本年も旧年に変りませず横芝町のために御支援と御協力を賜わりますようお願いをいたします。

年頭に当り、聊か覚悟を申し述べて新年の挨拶とさせていただきます。

新年の挨拶

町議会議長　伊東巖

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

昭和四十年、我が横芝町も合併以来満十年を迎えました。俗に十年一昔といいますが、此の十年の間には、幾つかの困難にも直面し、いわば、波濤を乗り越えて参った訳でありますが、町民各位の一致協力によりまして、横芝町が良く今日の発展を遂げましたことは、お互いに欣幸に堪えません。昔から「一年の計は元旦にあり」と言われておりますが吾々議会関係者にも、これは大切な言葉と信じております。何となれば、一般地域住民の方々の生活は官公庁とは異なり、一月から十二月までを一年として、総べての計画は一月一日に始まるのでありますから、皆様の意見を代表する私達が町民各位の福祉増進の計画も、又、当然一月に樹立すべき義務があるからであります。

さて、考えて見るまでに、人間はそれぞれ性格が異なり環境及立場に応じて考えも変ってくるのは心然的でありますす。吾々議員相互にいたしましても、意見の異なる場合がありましても不思議ではありません。むしろ、あって然るべきだと思っております。

しかし如何に意見に相違が有ろうとも、幅湊しようとも町の行政を安全に、正しく発展させて行くように努力する責任がある訳であります。しかも、その、立案審議については仮に、長期計画を樹てる場合にありましても、五年、十年先のこと以上に〝現在の時点における現在の動きを規正し、又利徳を勘案すること〟が大切であり、重要なことであると確信いたしております。不肖私は、そうした意味からも、ともすれば目標が常に同じ形である如く錯覚を起こす安易な考えに落ちてゆくことを自戒しつつ、町民各位の代表者としての勤めを果たす覚悟を新たにするものでございます。今後とも何卒限りない御支援と御鞭撻を町民各位にお願いをして年頭の御挨拶といたします。

議会だより

定例会（昭和三九、一二、二二付、同三九、一二、二五招集のもの）

議案第一号　昭和三十九年度横芝町一般会計補正予算議定について（農協助成金五〇万、結婚改善事業補助一八万円、道路補修費五八万円、鳥喰保育所建設関係二〇万円、其の他農林、教育関係を含み総額二一一万六千円を追加、この財源としては、固定資産税百万円、たばこ消費税一三万県支出金一三万円等歳出の同額を見込み、これを審議するもの）

第三号議案　千葉県市町村公平委員会共同設置規約の一部を改正する規約制定について（千葉県下市町村共同設置の公平委員会規約中町村合併等による町村名変更等の規約改正をするもの）

議案第四号議案　随意契約締結決の変更について（旧大総中学校の敷地及建物の譲渡契約について、学校法人代表として行った契約を学校法人代表としての肩書を抹消するもの）

以上四議案を審議決定

尚、上堺小学校体育館兼講堂建設に関する清願の審議が予定されていたが、清願者からの希望で今回は取下げとなった旨議長から報告があった。

横芝町老人ホーム特別会計補正予算議定について（事務費四七万円、事業費三四万円、計八二〇万円を追加し、その財源は、措置費四八万円、生

短歌

初出式に会いて

初出式しらすサイレン鳴りわたり横芝の空あけわたるらし

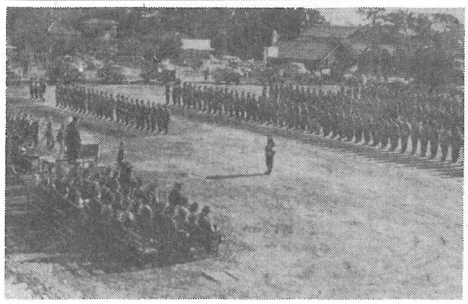
団旗迎うラッパ高らかに鳴りひびき四百二十の瞥じやくの姿

あくまでもぬれし団旗はしずしずとぬかれる道を進みゆくなり

ふりしきる寒雨払いて胸を張り初出の式に集うますらを

〈師走夜警〉

無火災を祈りてまわる火の番に何時しか除夜の鐘鳴り初めぬ



「集合終りッ　うす陽はさしていても寒雨はきびしく、制服をぬらす中に消防団員の気迫は目覚ましい

消防初出式

‖県知事功労章は‖
‖石井春雄氏‖

恒例の新春消防初出式は、一月八日、横芝中学校の校庭において華々しく展開された。新潟地震等の災害を見た後の事とて、推名団長以下各団員の気迫は目覚ましく、消防横芝の嚆矢しさを示してくれた。此の席上、本部、石井春雄氏の県知事功労章他それぞれ表彰状賞状等の授与式が行なわれた。各氏名は次の通り

昭和四十年　消防初出式受彰者芳名

千葉県知事功労章　本部　石井　春雄
〃　〃　精勤章
本部　伊藤　富雄
子安　外史
横八分団　井沢　俊元
九分団　伊藤登美雄
〃　消防協会功労章
本部　高橋伊三郎
横支本部　岩井　秀夫
〃　精勤章

横七分団　斎藤　淳
上一分団　大木　治男
大五分団　伊藤　要
上二分団　早川　昭
〃四分団　平山　丈一
横五分団　若梅　力
大支本部　大田　実

千葉県山武支庁長表彰
大一分団　菅沢　一
横一分団　佐藤　健二
〃四分団　高野　栄
上支本部　宇都木一郎
大支本部　岩井　秀夫
〃　精勤章

県消防協会山武支部長表彰
大四分団　子安　左一
横支本部　大藤竜太郎
横二分団　井上　信一
〃六分団　大智　四郎
上三分団　木島清三郎
横三分団　大木　義晴
大六分団　柳橋　敏博
上支本部　海保不二男
大支本部　諏訪　光弘
町長感謝状
於　幾　実川　一他
無火災表彰（十年間）
上堺支団第三分団

謹賀新年

町長	伊藤　績夫	教育委員会	
助役	平山　豊	委員長	石橋　瑞夫
収入役	土屋　直勝	委員	早川　和雄
老人ホーム院長	市原　利清	〃	小川　文弥
総務課長	石井　富雄	教育長	椎名　祥一
建設課長	川島　忠	選挙管理委員会	
税務課長	田中　静	委員長	江川　勇
産業課長	小高　猶次	委員	鳩川　恂治
厚生課長	小川　一校	〃	早川　正男
農業委員会		〃	実川　壮男
会長	斎藤　元一		伊藤
副会長	平山　昇一		
県委	河井　栄雄		
委員	若梅　正夫		
	伊藤　和夫		
	滝田　敏夫		
	木島　時中		
	斉藤　専造		
	伊藤　一郎		
	鈴木　勤一		
	早川　登蔵		
	大木　隆一		
	伊藤　仲夫		
	小池　知奨		
	小柳　一郎		
	伊藤　右勝		
	三木　勝一		
	浅野　浩		